



about Australia

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー

- 1960年以來オーストラリアでは、「オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー賞」という国民栄誉賞を通じて、すばらしい功績をなしとげた優れた国民を讃えています。これは、すべての人々の模範となる優秀なオーストラリア人を表彰する賞です。

背景

1960年の発足から1979年まで、オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー賞は、他の州のオーストラリアン・オブ・ザ・イヤー候補者を受けてヴィクトリア州オーストラリアデー委員会が選考していました。

1979年に、ナショナル・オーストラリアデー委員会という新しい全国的運営機関が、毎年1月26日の祝日に行なわれるオーストラリアデーについて政府への諮問機関としての責任を負うようになりました。1984年には、これがナショナル・オーストラリアデー審議会に昇格し、1990年には、連邦政府が議長と役員を任命する公的会社法人になりました。

このプログラムは、オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー、ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー（1979年発足）、シニア・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー（1999年発足）、そしてオーストラリアのローカルヒーロー（2003年発足）という4つの賞の部門に分けるまでに大きくなりました。

賞のプログラムは、州／準州レベルと全国レベルという2段階のプログラムに分かれています。州／準州レベルの受賞者は、自動的に全国レベルの候補者になります。地方自治体の職員、地域社会の代表、ナショナル・オーストラリアデー審議会の代表、スポンサー、歴代受賞者によって構成されるパネルが、最終候補者と受賞者を選出する州／準州のプロセスは、10月に行なわれます。

重要な事実

- オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーは、各分野で卓越した業績、コミュニティ及び国家への貢献、そして人々にインスピレーションを与えるロールモデルとしての活動を基準に選出される。
- 1960年にプログラムが発足以来、52名の個人と1グループがオーストラリアン・オブ・ザ・イヤーに選ばれている。
- 受賞者には、著名な科学者や芸能人、スポーツ選手、ボランティア活動家、ビジネスリーダーなどがいる。政治家と王室代表者は受賞資格がない。

各パネルは、各州／準州のために次の選考を行ないます。オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー受賞者1人と最終候補者3人、シニア・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー受賞者1人と最終候補者3人、ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー受賞者1人と最終候補者3人、そしてオーストラリアのローカルヒーロー受賞者1人と最終候補者3人です。

候補者は、1年につき1部門でのみ最終候補者または受賞者に選ばれることができます。各州／準州につき合計12名の業績が認められるわけです。各州／準州のオーストラリアン、シニア・オーストラリアン、ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーとローカルヒーロー（合計32名）が全国レベルの最終候補者になります。ナショナル・オーストラリアデー審議会の役員会が、全国の選考パネルとなります。

この賞は、個人および個人のグループだけを対象としています。政治家および王室代表者(総督)は受賞資格がありません。

候補者は全員、オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーの対象となります。オーストラリアデーに60歳以上になる候補者は、シニア・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーの対象に、16歳から25歳までの候補者は、ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーの対象になります。そして全員がオーストラリアのローカルヒーロー賞の対象になります。

選考基準

候補者の選考には、賞の前年の業績ばかりでなく、一生涯の業績や、オーストラリアのコミュニティや国への継続的貢献も考慮されます。候補者は、各自の分野での卓越した業績をもち、人にインスピレーションを与えるロールモデルであることが求められます。ローカルヒーロー賞は、地元のコミュニティレベルでの有意義な貢献を表彰するものです。

選考パネルは、候補者の個人的な業績や、学術的・職業的業績とともに、各自の分野と社会にどれほど恩恵を「返し」ているか、目に見える形でのリーダーシップ、革新性と創造性、将来の目標とその恩恵、達成した業績の難度と払った犠牲の大きさ、過去の受賞と表彰歴などを考慮に入れます。

ボランティアとしての仕事や成果、受賞者として1年間、国家のプライドを高揚することと市民活動に積極的に従事する時間と覚悟があるかなども考慮されます。オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー賞の受賞者は、性別や年齢、地域、民族、事業の分野などわけへだてなく、多様な国家を代表する人でなければなりません。

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー 受賞者

1960年にこのプログラムが発足して以来、52名の個人と1つのグループが、その年の輝かしいオーストラリア人としてこの賞を受賞しています。

2008年 リー・カーナガン OAM(オーストラリア勲章メダル)、音楽家

2007年 ティム・フラナリー教授、科学者/環境保護者

2006年 イアン・フレーザー教授、医師-科学者

2005年 フィオナ・ウッド AM(オーストラリア勲章メンバー)、医師

2004年 スティーブ・ウォー、クリケット選手

2003年 フィオナ・スタンリー教授 AC(オーストラリア勲章コンパニオン)、医師-研究者

2002年 パトリック・ラフター、テニス選手

2001年 ピーター・コスグローブ陸軍中將 AC MC(従軍十字勲章)、軍人

2000年 サー・グスタフ・ノッサル AC CBE(大英帝国勲章コマンダー) FAA(オーストラリア科学アカデミー会員) FRS(ロイヤルソサエティ会員)、科学者

1999年 マーク・テイラー、クリケット選手

1998年 キャシー・フリーマン、陸上選手

1997年 ピーター・ドハティー教授、医学研究者

1996年 ジョン・ユー博士 AM、小児科医

1995年 アーサー・ボイド AC OBE(大英帝国勲章オフィサー)、画家

1994年 イアン・キエナン OAM、環境保護者

1993年 **該当者なし

1992年 マンダウイ・ユヌピング、音楽家、教育家、コミュニティ指導者

1991年 ピーター・ホリングワース大司教 AO OBE、司教

1990年 フレッド・ホロウズ AC (1929-93)、眼科医

1989年 アラン・ボーダー AO(オーストラリア勲章オフィサー)、クリケット選手

1988年 ケイ・コティアー AO、船乗り

- 1987年 ジョン・ファーナム、音楽家
- 1986年 ディック・スミス、実業家
- 1985年 ポール・ホーガン AM、俳優
- 1984年 ロイス・オドナヒュー CBE AM(オーストラリア勲章メンバー)、保健師、経営者
- 1983年 ロバート・デ・カステラ MBE、陸上選手
- 1982年 サー・エドワード・ウィリアムズ KCMG(大英帝国勲章ナイトコマンダー) KBE(大英帝国勲章ナイト) (1921-99)、裁判官
- 1981年 サー・ジョン・クロフォード AC CBE、経済学者
- 1980年 マニング・クラーク AC (1915-91)、歴史学者
- 1979年 *ネヴィル・ボナー上院議員 AO、上院議員
- 1979年 *ハリー・バトラー CBE、自然保護者
- 1978年 *アラン・ボンド、実業家
- 1978年 *ギャラー・ウィ・ユヌピング AM、コミュニティ指導者、活動家
- 1977年 *サー・マレー・ティラル KCVO(ロイヤルヴィクトリア勲章ナイトコマンダー) CBE、総督の公認秘書
- 1977年 *デイル・レイ・ロウ DBE(大英帝国勲章デイル)、地方女性協会リーダー
- 1976年 サー・エドモンド・「ウェアリー」・ダンロップ AC CMG(大英帝国勲章コンパニオン) OBE (1907-93)、外科医
- 1975年 *サー・ジョン・コーンフォース AC CBE、化学者
- 1975年 *アラン・ストレトン少将 AO CBE、軍人
- 1974年 サー・バーナード・ハインツ AC (1894-1982)、音楽家
- 1973年 パトリック・ホワイト (1912-90)、作家
- 1972年 シェーン・グールド MBE、水泳選手
- 1971年 イヴォンヌ・グーラゴング・コーリー AO MBE、テニス選手
- 1970年 ノーマン・ギルロイ枢機卿閣下 ABE (1896-1977)、枢機卿
- 1969年 リチャード・ガーディナー・ケイシー閣下バーウィック・ヴィクトリア・ウェストミンスター市子爵 KG GCMG(大英帝国勲章ナイトグランドクロス) CH(コンパニオンオブオナー) (1800-1976)、オーストラリア総督
- 1968年 ライオネル・ローズ MBE、ボクシング選手
- 1967年 ザ・シーカーズ、音楽グループ
- 1966年 サー・ジャック・ブラバム OBE (1926年生)、レーサー
- 1965年 サー・ロバート・ヘルプマン CBE (1909-86)、俳優、ダンサー、舞台監督、振付師
- 1964年 ドーン・フレイザー MBE、水泳選手
- 1963年 サー・ジョン・エクルス AC (1903-97)、神経科学者
- 1962年 アレキサンダー・「ジョック」・スタロック MBE、音楽家
- 1961年 デイル・ジョーン・サザランド OM(メリット勲章) AC DBE、音楽家
- 1960年 サー・マクファーラン・バーネット OM AK (オーストラリア勲章ナイト) KBE (1899-1985)、医師-科学者
- * 1975年から1979年まで、キャンベラ・オーストラリアデー審議会もオーストラリアン・オブ・ザ・イヤーを表彰していました。
- ** 賞の対象期間に変更があり、この年、賞は授与されませんでした。

2008 年の受賞者

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー — リー・カーナガン
OAM

リー・カーナガンは、カントリーミュージックの演奏者で、オーストラリアカントリーミュージック賞においてゴールデンギター賞を 24 回受賞しています。氏のオーストラリアン・オブ・ザ・イヤー賞は、苦境にある、とくに干ばつの影響を受けたコミュニティのために、100 万ドル以上を集めた「帽子を回そう」募金ツアーを通じてなされた農家救援活動を表彰するものです。

シニア・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー — デビッド・ブソー AM

デビッド・ブソーは、社会実業家で、貧困層の人に少額のローンを利用してもらうことで開発途上国の貧困軽減に役立てようという極小規模事業運動のパイオニアの 1 人です。氏は、1979 年にオポチュニティ・インターナショナルを共同で立ち上げました。この組織は、23 ヶ国の人々に 125 万件のローンを融通してきました。

ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー — ケイシー・ストーナー

モーターバイクのレーサーであるケイシー・ストーナーは、モト GP 優勝者としての成功を讃えられ、ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー賞を授与されました。

オーストラリアのローカルヒーロー — ジョナサン・ウェルチ

コーラスの指揮者ジョナサン・ウェルチは、氏のハード・ノックス合唱隊で無一文のオーストラリア人グループに歌わせて、ホームレス、うつ、薬物依存症からの脱却を手助けしたことによってオーストラリアのローカルヒーローに指名されました。

トロフィー

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーに選ばれた各氏には、メルボルンで活躍する芸術家クリスティン・マクファーレンがデザインし創作したガラスのトロフィーが授与されます。それぞれが、オーストラリアのシンボ

ルを表象し、各受賞者の業績を末長く記憶にとどめるようデザインされたユニークな芸術作品です。

各トロフィーは、南十字星、海岸線の地図、国歌の歌詞など、オーストラリアのモチーフとアイコンを描いています。完成してから名前を刻むのではなく、各受賞者の名前がトロフィーそのものに埋め込まれています。

注：特記していないかぎり、ドルによる金額はすべて豪ドルです。

関連情報

National Portrait Gallery
www.portrait.gov.au

Nobel Foundation
www.nobelprize.org

Last updated April 2008

Satellite imagery © Commonwealth of Australia, Geoscience Australia, ACRES.

Western Australia coastline.

